

浦舟だより

令和5（2023）年 3月 1日

第 11 号（第281号）

横浜市立浦舟特別支援学校
E-mail: ysurafun@edu.city.yokohama.jp

いっとう たの 一燈を頼む

校長 和内 正也

3月となり年間のまとめや卒業を迎える時期となりました。本校は途中で転出入する子どもがとて多い学校ではありますが、年度終わりというこの節目を迎えて、本校とは違う道を進む人がより多くなります。これまでとは異なる道を歩み始める人たちに応援する気持ちをこめて、今回は江戸時代の学者である、佐藤一斎^{いっさい}という人の言葉を紹介したいと思います。

いっとう さ あんや あんや うれ いっとう たの
一燈を提げて暗夜に行く 暗夜を憂うることなかれ ただ一燈を頼め

そのままと理解しにくい言葉です。より今の言葉に近づけると、「^{あか}灯りを一つ持ってさえいれば、暗い夜道も闇^{やみ}も心配することはない。自分の足元を照らす灯りを頼^{たよ}りにして歩き進みなさい。」となります。この言葉の中で「一燈」（灯り）には、進む道しるべとして必要となる、自分の^{こころざし}志や信念、自信といった意味がある、と受け取ることができます。

解説しますと、自分自身の志や信念さえしっかり持っていれば、どんなに先が見えないような困ったことになった場合でも不安に思う必要はない、自分の志や信念を信じて進めばよいのだ、ということとなります。私はこの言葉を知り、自分自身の持っている「強さ」や「良さ」、「持ち味」を信じて、いつもプラス思考を持って進んでいきたいものだ、と思いました。

子どもたちの進む道が「暗い夜道となる」と決めつけるつもりはまったくありません。とはいえ新型コロナウイルスによって生活が一変したり戦争が始まったりと、予測困難な「世間」に私たちは生き、歩みを進めています。世の中に出ていくうえで頼りとなる「一燈」を子どもたちに持たせたいと願って、本校教職員は日々努力して取り組んでいます。児童生徒のみなさんには、自分の得意とすることを伸ばして、自信をつけて、成長して行ってほしいです。そして保護者の皆様には、一燈を持たせたい子どもたちを引き続き支えていていただきたいと思います。

今年度も浦舟特別支援学校に温かいご支援、ご協力をいただいた保護者・地域の皆様には深く感謝を申しあげます。学校教育目標である「自他を大切にし、前向きに生きる力を育みます。」をめざし教職員一同、これからも力を合わせ取り組んでまいります。来年度も皆様のご支援をいただけますよう願っております。本当にありがとうございました。



新しい学年に向けて ～本校・センター院内学級～

少しずつ暖かい日が増え、日も長くなって
きました。次の学年を意識しながら学習活動
を進めています。

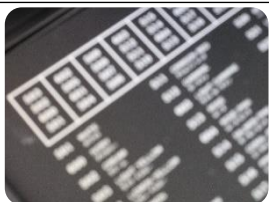
制作活動



ポッチャ



デジカメアート



学習の様子



卒業・進級に向けて ～福浦～

テーマは「世界に一つだけの花」です。
合奏の練習や壁面の装飾など、門出をお祝いす
る準備を進めています。



2月の全校行事



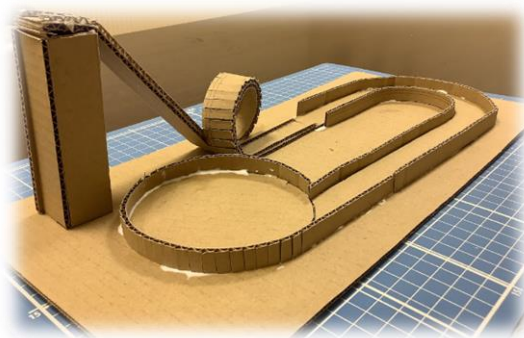
2月の全校朝会は、保健会歯科衛生士の増田
さんの歯科指導の映像を視聴して、歯や口の健
康づくりについて学びました。

また、16日の薬物乱用防止教室では、学校薬
剤師の鳩山先生より薬物乱用についてお話を
聞きました。

作品紹介

～訪問指導学級～

図工の時間に、ピタゴラ装置を作りました。
ビー玉が1回転してレーンを通り、たまり場へ
転がっていきます。丸い部分は、小さいハサミ
で切れ目を入れていきました。力作です!!



3月の予定

- 1日(水) 全校朝会
- 15日(水) 卒業証書授与式
- 21日(火) 春分の日
- 24日(金) 修了式・離任式
- 3/26～4/6 春季休業
- 4月7日(金) 入学式・始業式

その他の予定は、各院内学級
よりお知らせします

